

授業科目 基礎作業学実習

【担当教員名】 大山 峰生		対象学年	1	対象学科	作業
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	○	◎	
【概要・一般目標：GI0】 作業療法の治療手段として用いられる基本的な作業活動について、基本的知識と基本技法を学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SB0】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 作業療法の対象となる人や障害に関心を持つことができる。 2. 一般的な礼節を身につける。 3. 各作業活動の工程を説明できる。 4. 各作業活動に必要な用具・材料を列挙し、その特性や使用法を説明できる。 5. 各作業活動の工程に必要な技法（技術）を体験する。 6. 材料・用具を手入れ管理できる。 7. 作業活動の全工程を経験し、作品を完成させる。 8. 作業活動に必要な感覚・知覚・運動機能、精神・心理機能について述べるができる。 9. 作業活動において製作した作品を通じて、人間が営む作業活動の社会的ならびに文化的な価値を理解することができる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション			1-8	講義
2	作業分析			1-8	講義、演習
3	作業活動（タイルモザイク）			1-8	実習
4	作業活動（マクラメ）			1-8	実習
5	作業活動（革細工）			1-8	実習
6	作業活動（アンデルセン手芸）			1-8	実習
7	作業活動（籐細工）			1-8	実習
8	作業活動（七宝焼き）			1-8	実習
9	作業活動（金工）			1-8	実習
10	作業活動（木工）			1-8	実習
11	作業活動（陶芸）			1-8	実習
12	作業活動（機織り）			1-8	実習
13	作業活動（ペーパークラフト）			1-8	実習
14	レクリエーション			1-8	実習
15	まとめ			1-8	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席、授業態度、作業活動参加状況、レポート等により総合評価する。			【履修上の留意点】		